

第二回学生書苑の集い

「みんなで書を楽しもう」開催のお知らせ

昨年に引き続き、今年も「みんなで書を楽しもう」を開催します。これは、書の教室では仲々経験できないようなことを体験してもらおうとの意図から企画しています。学校・書の教室は別だが、学生書苑を通じての仲間同志が、何か新しいことに取り組もうというものです。

今回は、二十四年二月号の書話「筆のはなし」で紹介した筆を使って実際に書いてみようとの試みです。まず、筆の種類・特徴を説明し、私が書くところを見せますが、みなさんは、前回と同様一紙への合作です。一紙の合作では、各人がお互いのことを考えながら書き進めることが大切です。普段書いている半紙が個人競技なら、合作は団体競技といったことでしょうか。今回は、みなさんが使っている筆とは違うので、どんな作品ができるか大変楽しみです。

多くの方のみなさんの参加を期待しています。

会長 鈴木静村
主幹 高橋香樹

- 日時 平成二十七年三月二十九日(日)午後一時三〇分～三時三〇分
- 対象者 高校生、中学生
- 場所 品川区荏原第二地域センター区民集会所 2階
※詳細は、参加者に追ってご連絡します。
- 最寄り駅 東急目黒線西小山駅 徒歩7分
東急池上線・大井町線 旗の台駅 徒歩12分
- 参加費 五〇〇円 ●持ち物 筆(半紙、漢字用)
- 出席ご希望の方は支部長先生を通して、書苑会事務局までお申し込みください。

支部訪問

片町支部



山田紫苑先生

今泉和香先生

片町支部の山田紫苑先生は、小金井柳雪先生に昭和五十一年から指導を受け、その後は小金井先生のお嬢さんである塚越桃雪先生に師事。

昭和五十七年に小金井先生の薦めで、学生を教えるようになり、多い時は二十五名在籍していたこともあり、同門の今泉和香先生も三年前から学生の指導を始め、片町支部から出品。

稽古は、最初に硬筆を。一枚書いてら添削し、更に一枚書く。毛筆は、

漢字、かなそれぞれ四、五枚書き、二回添削を行うという。

高校生は、五文字の課題ゆえ、半紙にいかにおさめるかを指導。楷

書は、起筆(打ち込み)、

終筆(止め)の大切さを教え、行書は、線のつながりを説明し、正しい行書の筆順(行書では線の省略があり楷書と異なる場合あり)を指導。かなは、全体的にやわらかく細めにし、漢字との違いを理解させるように指導する。

学生書苑への出品の他に川崎書道連盟展に学生書苑の課題を半紙にて出品。また、稽古会場の「プラザ橋」における公民館まつりに学生・一般共に出品。

六十歳以上を対象とした老人いこの家の教養講座二ヶ所、一年で二十回講座の指導をボランティアされているとのこと。頭が下がります。

書苑会への要望として、指導者・指導希望者を対象とした指導方法の講座を開催してほしいとのご意見をいただきました。(高橋香樹)

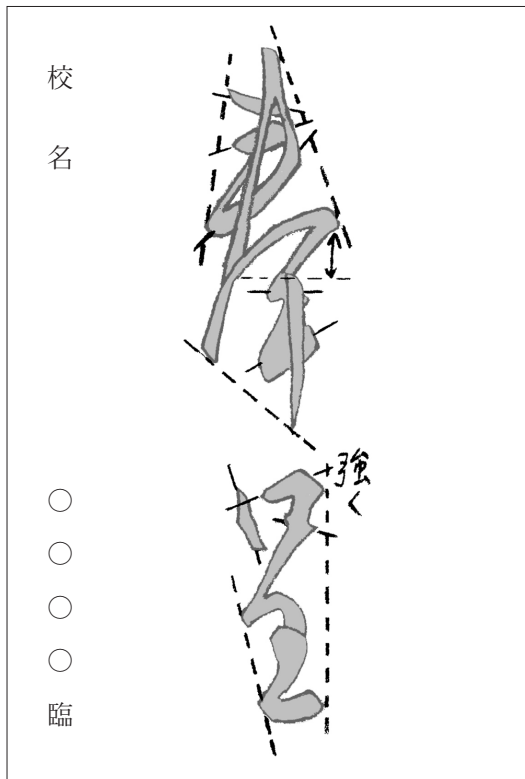
- 師系 小金井柳雪先生・塚越桃雪先生
- 生徒数 学生7名(今泉和香先生4名) 一般17名
- 稽古 月3回 日曜日 一般と高校生(プラザ橋) 土曜日 中学生(自宅)
- 指導法 ○中学生・高校生が対象のため、かなと行書の指導に力を入れる。
○かなは基礎である単体を徹底的に指導。俳句課題は一般のかなへの橋渡しの認識。
○行書は線の省略と書き初めから最後まで繋がりを持つことを理解させる。
- 生徒募集 プラザ橋での展覧会で半紙の手本をおいておき、一般の人に水書きしてもらおう。それを機会に入会する人がいる。



古典に学ぶ

古典臨書課題

(三月二十二日締切)



校 名

〇 〇 〇 〇 臨



二玄社 風信帖

「奉呈」

高橋 香樹

《学び方》

奉 一、二、三画目の横画の方向に留意。それぞれ違う角度になっている。四画目は直線的に長く。五画目は右肩上がりで短く。六画目は横に。七画目は右上がり。

呈 一画目下すばまりに。二画目の転折しっかりと筆を突き、そのままの力で縦・横と書き、次画へ連綿。「王」の一画目、前画より受け筆を引き上げながら右上がり。結びでは「ㇿ」のようにする。

〔出品〕 高校生、中学生 (一般部に編入した人も出品可)

〔形式〕 半紙たて書き

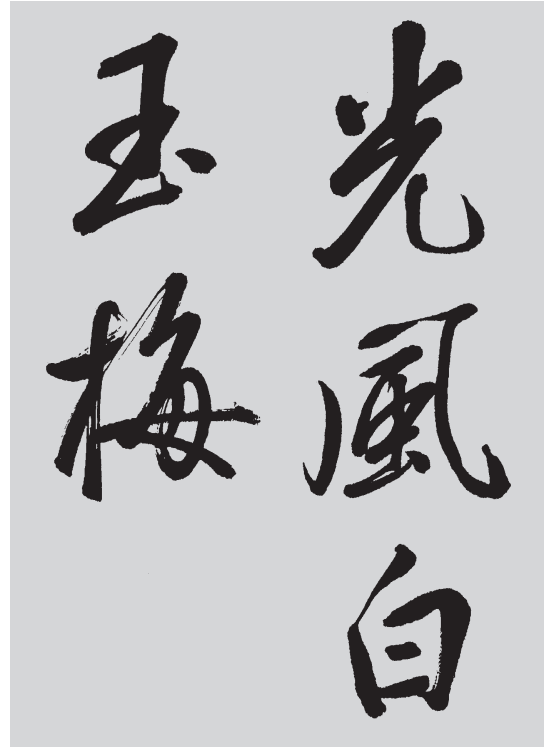
〔締切〕 3月22日 〔出品料〕 一二〇円

〔発表〕 学生書苑五月号

12月締切課題「忽恵」総評

今回の課題は、一筆書きで難しいためか苦労している作が多く見うけられました。一筆書きでは墨量も少し多くしないと最後まで持ちません。その上、一画目から二画目を除き、最後まで連綿されているので、原帖の観察もおろそかになるのでしょうか。写真版以外でよく書けていた人は、大木優美さん、上原由貴さん、小林達夫さん、奈良めぐみさん、山田粹里さん、山本結菜さん、水口ひなたさん、金田美雨さん、中野香穂さん、山田純歌さんでした。

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書



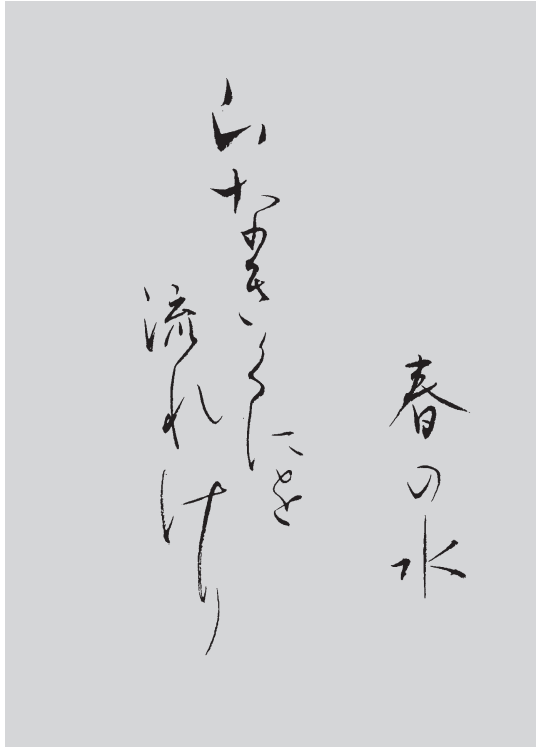
学校名

段級

氏名

光風白玉の梅

高校かな 石島柏美先生書



学校名

段級

氏名

春の水山なき国を流れけり (蕪村)

中学漢字(楷) 高橋香樹主幹書



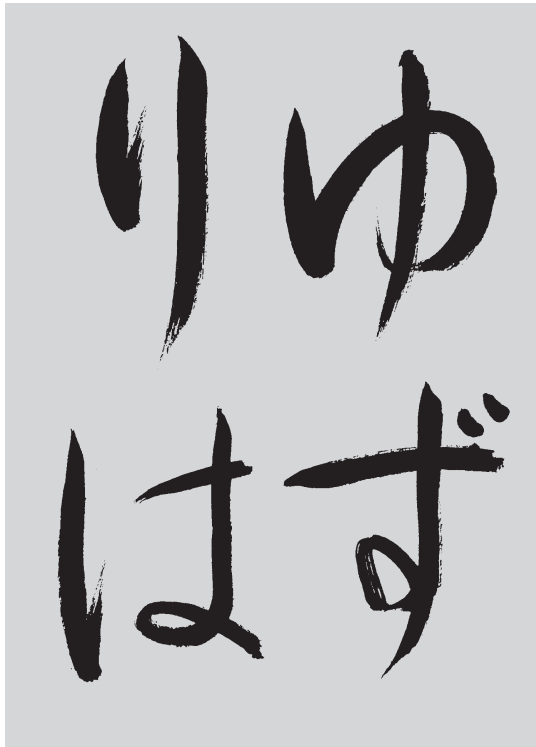
学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

中学かな 水貝潮華先生書



学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

小学五年 高橋香凌先生書

学校名

段級

氏名



小学六年 高橋香凌先生書

学校名

段級

氏名



小学三年 星野煌雪先生書

学校名

段級

氏名



小学四年 星野煌雪先生書

学校名

段級

氏名



注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

毛筆競書課題手本（三月二十二日締切）

高橋香樹主幹書

小学二年



学校名

段級

氏名

硬筆競書課題手本（三月二十二日締切）

水貝潮華先生書

※高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いてくだ

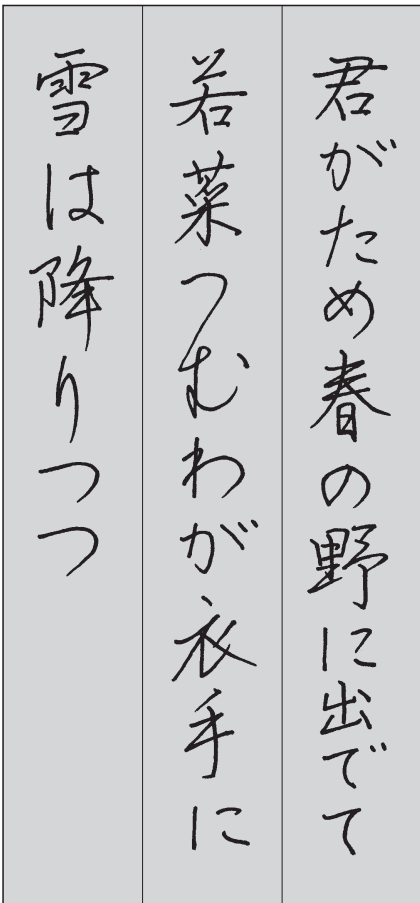
さい。（鉛筆・青インクは不可）

※小学生は鉛筆（2B～4B）で書いて下さい。

※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。

※注意 会員外の出品料は1作品につき二四〇円。

高校・中学



筆順（行書）

っ
了
了
了
了
降
降

（光孝天皇）

高橋香樹主幹書

小学一年



学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

小学四年

筆順
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了
 了

漢	今
字	ま
の	で
お	に
き	習
ら	っ
い	た

小学五年

筆順
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、

む	ま
明	ど
る	か
い	ら
春	差
の	し
光	こ

小学六年

筆順
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日

高	大
記	な
録	わ
を	と
目	び
指	で
す	最

小学一年

ひつじゅん
 一
 一
 一
 一
 一
 一

こ
と
り
の
う
た

小学二年

ひつじゅん
 一
 一
 一
 一
 一
 一

木
林
の
く
ま
さ
ん

小学三年

筆順
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一
 一

元
気
な
子
ど
も

※小学生は鉛筆(2B~4B)で書いて下さい。
 ※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。